

経済学部 カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱えるさまざまな課題に対する関心と問題意識をもつことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治や法とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦よき経済人としての倫理観に基づいて、経済社会のあり方やそこでの望ましい行動を思考し判断できる。 ⑧経済社会の課題を自ら発見し、課題解決に向けて経済学を基盤とした知識を応用することができる。 ⑨経済社会における個人や文化の多様性について理解を深めて尊重することができる。 ⑩すすんで他者と協働して、経済社会の問題解決に向けて行動することができる。

\*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

野分	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)				
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩					
学科 (必修科目)	ミクロ経済学入門	EK1101	経済活動を行う個別の経済単位である消費者(家計)や生産者(企業)の需要・供給行動とともに、市場での交換を通じて決まる取引量や価格の決定メカニズムを学ぶ。	○	◎	○	◎	○										
	マクロ経済学入門	EK1102	GDPや物価指数などマクロ経済の動きを見る上で不可欠な指標を理解し、それらが実際どのように動いているのかを学ぶ。	○	◎	○	◎	○										
	専門基礎演習	EK2101	3年次以降の専門演習での研究活動に備え、社会への問題意識を抱き、その解決策を模索する訓練を行う。	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○	○
	専門演習	EK3101	各自が研究テーマを設定したうえで、研究報告書を作成して、4年次で卒業研究を履修するための学問的基礎を形成する。	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
	卒業研究	EK4101	各自が研究テーマを設定したうえで、卒業論文を作成することを最終目的とする。	◎	◎	◎	◎	○	◎	◎	◎	○	○	○	○	○	○	○
学科 基幹科目 (選択)	統計学入門	EK1301	度数分布を理解し、平均、分散、標準偏差等を計算できるようにする。基本的な連続型確率変数として、正規分布を説明する。		○	◎		○										
	経済史入門	EK1302	「歴史的事象を経済学的に理解すること」を通して「資本主義システムの成立過程と特質を解明すること」が目的である。	○	○	○	◎	◎										
	日本経済入門	EK1303	戦後日本経済が迎ってきた大まかな歴史を、復興期、高度成長期、安定成長期、バブル崩壊以降の4期に分けて学び、現在の日本経済がいかにして成立してきたのかについて理解する。	○			○	◎				○						
	財政学入門	EK2301	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○				○						
	金融論入門	EK2302	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、初級レベルとしての金融理論及び分析手法や実際の金融知識を習得する。特にマクロ金融に関連したテーマを扱う。	○	◎		○			○		◎						
	国際経済学入門	EK2303	比較優位に基づく自由貿易の利益と保護主義による社会的損失を理解する。また国境を越える取引を総括した国際収支表の理解を通じて貿易黒字・赤字の真の意味を理解できるようにする。	○	◎	◎	◎	○					○					
	デジタル・プレゼンテーション	EK1304	ノートパソコンによるプレゼンソフトの実習で、コミュニケーション能力を養う。聴衆の興味を引く、効果的なプレゼンができるスキルを身につける。				○				◎		○				○	
	データ表現技法	EK1305	表計算ソフトの実習で経済学に必要なグラフの作成スキルを習得する。データに適した分かりやすいグラフを作成できる能力を養成する。		○	◎							○					○
	アカデミックスキルズ	EK3301	卒業研究や卒業論文を進める際に最低限必要なスキル(資料調査・プレゼン・文章作成など)を身につけ、他の学生にも教えられるようにする。		○	○					◎		○					○
	経済キャリア講座	EK3302	1・2年次までの経済学の学びやDP到達度を確認し、自己理解を進める。また、卒業研究や卒業論文を進める際に必要な能力を理解する。										○	○				△
経済	統計学	EK2304	クロス分析や回帰分析を中心に、より高度な分析ツールを用い、経済・社会の動きの特徴を捉えられるようにする。	○	◎	◎	○											
	経済数学	EK2305	中級レベルの経済学に登場する数学のうち、微分法について、応用上最も重要な部分について講義する。特に、ラグランジュ乗数法について深い数学的理解をえることを目的とする。			◎	○			○								
	ミクロ経済学1	EK2306	中級ミクロ経済理論のうち、完全競争市場を前提とするものとして、消費者行動理論・生産者行動理論・一般均衡理論の3つを学ぶ。(小出・佐藤)	○	○		◎	○				○						
	ミクロ経済学2	EK2307	中級ミクロ経済理論のうち、不完全競争市場に関するものとして、ゲーム理論の応用・情報の経済学・独占市場の理論の3つを学ぶ。	○	○		◎	○				○						
	マクロ経済学1	EK2308	「マクロ経済学入門」で学習した内容をさらに進め、基本的なマクロ経済学体系を学習しながら、最終的にはAD-AS分析を習得することを目的とする。	○	◎		○	○					○					

# 経済学部 カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱えるさまざまな課題に対する関心と問題意識をもつことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治や法とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦よき経済人としての倫理観に基づいて、経済社会のあり方やそこでの望ましい行動を思考し判断できる。 ⑧経済社会の課題を自ら発見し、課題解決に向けて経済学を基盤とした知識を応用することができる。 ⑨経済社会における個人や文化の多様性について理解を深めて尊重することができる。 ⑩すすんで他者と協働して、経済社会の問題解決に向けて行動することができる。

\*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

野分	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)			
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩				
理論と情報	マクロ経済学2	EK2309	景気循環や経済成長といった、生産設備量の変化するような長期に関するマクロ経済理論を学習する。	◎	◎		◎	○				○					
	計量経済学	EK2310	データを用いて最小2乗推定量を計算する。最小2乗推定量、仮説検定等の回帰分析の結果を理解する。		◎	◎						○					
	経済データ分析	EK2311	経済分析に必要な基本統計量から相関・回帰分析（最小二乗法）までをデータで計算しながら、基本概念と処理方法を理解する。		◎	◎						○					○
	社会経済学	EK2312	歴史的な視点から資本主義経済の特徴と現状について学び、その関連で経済学の歴史についても触れる。現代の様々な問題を、資本主義経済の特徴からより深く捉えることができるようになる。	◎	○			◎				○	○	○			
	現代経済学	EK2313	論理的思考力、基本的なデータ分析手法を実践を通じて身に付ける。	◎	◎	◎	◎										◎
	経済学特殊講義	EK1306	毎年度、異なった領域を研究する教員が交代で、教員の専門領域の中から特定のテーマについて講義を行う。その後、そのテーマについての課題を受講学生に与え、学生がその課題についてのレポートを行う。	○	◎	◎					◎		◎				○
応用経済と経済政策	財政学1	EK2314	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○				○					
	財政学2	EK3303	わが国の財政の現状とその問題点を理解する。課税の経済効果や望ましい課税に求められる原則について理解する。我が国の年金制度の直面する問題点の理解を深める。	◎	◎		◎	○				○					
	公共経済学	EK3304	市場の機能と政府の役割、公共財の理論、最適公共支出の決定、外部性による市場の失敗と外部性の内部化、自然独占市場とその公的規制などについて理解を深める。	◎	◎		○					◎					
	金融論 1	EK2315	現実の金融諸問題についての理解を深めるために、中級レベルとしての金融理論及び分析手法や実際の金融知識を習得する。特に金融システムに関連したテーマを扱う。	○	◎		○			○		◎					
	金融論 2	EK3305	外国為替の仕組みや役割を学びながら最近までの国際金融の動きや変化を捉える。	○	◎		○			○		◎					
	国際経済学 1	EK2316	国際分業の理解を深める。WTOの下での貿易政策のケーススタディを行う。金融政策と為替レートとの関係を学ぶ。	○	◎	◎	◎	○				○					
	国際経済学 2	EK3306	国際経済学の基本理論の理解を基礎に、現代的なトピックス（貿易と環境、情報技術の発展と国際分業など）への応用分野を学ぶ。	○	◎	◎	◎	○				○					
	経済政策論	EK2317	市場メカニズムを中心に営まれる経済において、政府の公共政策が果たすべき役割と意義、ならびにその機能を、厚生経済学、公共経済学の理論的基礎に立って、体系的な理解を得ることを目的とする。	◎	◎		○					◎					
	産業組織論	EK3307	SCPパラダイムを学び、企業の様々な戦略的行動と独占禁止法との関わりを理解することを目的とする。		○	○	◎	◎			○						
	労働経済学	EK2318	現代社会に幅広く存在する労働問題をデータを基にして理解し、経済学のツールを用いて解決策を自ら導くことができることを目的とする。	◎	○	○	○							○			△
	社会保障論	EK3308	社会保障の必要性および歴史と理念、制度と機能、現状と課題を概観し、医療保障・所得保障・介護保障の現状と課題について理解を深めることができる。	◎			○	○				◎	○				
	資源経済学	EK2319	天然資源に関する経済理論や市場特性を理解し、内外の資源問題を自らの生活と関連付けて考え、問題解決の方策を思案できる。	◎	◎			◎				○	○				
	資源・エネルギー政策	EK3309	経済社会活動に不可欠なエネルギーを取巻く課題と政策を理解し、国際的な視野から課題解決に向けた政府と個人の取組みを提案できる。	◎	◎			◎				○	○				
	環境経済学	EK2320	環境問題の経済理論的説明ができるようになり、経済成長と環境保全のトレード・オフ、およびその切り離しを理解する。	◎	○		◎					◎	○				

学科展開



経済学部 カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱えるさまざまな課題に対する関心と問題意識をもつことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治や法とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦よき経済人としての倫理観に基づいて、経済社会のあり方やそこでの望ましい行動を思考し判断できる。 ⑧経済社会の課題を自ら発見し、課題解決に向けて経済学を基盤とした知識を応用することができる。 ⑨経済社会における個人や文化の多様性について理解を深めて尊重することができる。 ⑩すすんで他者と協働して、経済社会の問題解決に向けて行動することができる。

\*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

野分	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
	公共政策演習 1	EK1307	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に憲法をテーマに演習問題を中心に行う。	◎	○		◎								○	
	公共政策演習 2	EK1308	公務員志望の学生に対して、公務員となるために身につけなければならない必要最小限の知識の修得と論理的思考力を高めるために、特に民法をテーマに演習問題を中心に行う。	◎	○		◎								○	
	公共政策特別演習 1	EK2335	公務員志望者向けの科目である。教養試験に対応するための実践的な講義であり、数的処理、特に判断推理と空間把握を中心に行う。なお、数的処理分野の充実を図るため、毎回問題演習が課され、自主的に学生が勉強するよう指導する。				○	○		△	◎			○		
	公共政策特別演習 2	EK2336	公務員志望者向けの科目である。教養試験に対応するための実践的な講義であり、数的処理、特に数的推理と資料解釈を中心に行う。なお、数的処理分野の充実を図るため、毎回問題演習が課され、自主的に学生が勉強するよう指導する。				○	○		△	◎			○		
キャリア	企業連携演習 1 a	EK1309	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎				◎		◎				◎
	企業連携演習 1 b	EK1310	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎				◎		◎				◎
	企業連携演習 2 a	EK2337	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎				◎		◎				◎
	企業連携演習 2 b	EK2338	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎				◎		◎				◎
	企業連携演習 3 a	EK3314	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎				◎		◎				◎
	企業連携演習 3 b	EK3315	企業の課題解決に実際に取り組むことで、ビジネスを展開していく上で必要な多面的なスキル・能力を身に付ける。	○	◎	◎				◎		◎				◎
	企業連携講座1	EK1311	初年次学生向けの金融リテラシーに関する内容を扱う。企業からの寄附講座として、最前線の金融パーソンから実際の話や最新のトピックスを聞き、リスク管理の重要性	○								○	○	○		
	企業連携講座2	EK2339	2年次以上の学生向けに、地元の企業や金融に関する内容を扱う。企業からの寄附講座として、ビジネスパーソンから実際の話を聞き、経済学の理解をより深いものとする。	○	○							○	○	○		△
	企業研究 1	EK2340	現代社会における企業について、製造業を中心に企業の現場に出かけ、最前線の息吹や諸問題に直接触れ、現地で五感を通して系統的に学ぶことができる。	○							◎		◎		◎	◎
	企業研究 2	EK2341	名古屋県の経済と経営に光を当て、その多様な実像と課題について、企業や行政などの第一線で活躍する経営者・専門家による講義を通して学ぶことができる。	○		○					◎				◎	
	経済プロジェクト演習	EK2342	企業連携演習で培った提案力を活かした、プロジェクトの計画と遂行を通じて、社会人スキルを涵養するとともに、経済学部への帰属意識を喚起し、経済学部に貢献する学生（SA等）を育成する。								◎	○	◎	◎	◎	◎
	経済実務 1	EK1312	経済学の学びを深め、社会での活躍の機会を増やすため、より実践的な力を身に付ける。資格検定試験の難易度に応じて、単位認定を行う。		○		○	○					○			
	経済実務 2	EK1313	経済学の学びを深め、社会での活躍の機会を増やすため、より実践的な力を身に付ける。資格検定試験の難易度に応じて、単位認定を行う。		○		○	○					○			
	経済実務 3	EK1314	経済学の学びを深め、社会での活躍の機会を増やすため、より実践的な力を身に付ける。資格検定試験の難易度に応じて、単位認定を行う。		○		○	○					○			
国際理解1	EK1315	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。												◎	◎	
国際理解2	EK1316	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。												◎	◎	
国際理解3	EK1317	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。												◎	◎	

学科関連科目

# 経済学部 カリキュラムマップ

ディプロマ・ポリシー	【知識・技能】	①経済社会が抱えるさまざまな課題に対する関心と問題意識をもつことができる。 ②経済学の基礎的専門知識や分析ツールを使いこなすことができる。 ③文献資料やデータを収集し、適切に処理することができる。
	【思考力・判断力・表現力】	④社会を洞察するための論理的思考力をつけ、因果関係の把握や費用便益の比較考量ができる。 ⑤政治や法とのつながりを理解し、経済社会を多面的に捉えることができる。 ⑥自らの意見・考えを他者に的確に伝え、コミュニケーション・議論の中で自らの改善に活かすことができる。
	【主体性・多様性・協働性】	⑦よき経済人としての倫理観に基づいて、経済社会のあり方やそこでの望ましい行動を思考し判断できる。 ⑧経済社会の課題を自ら発見し、課題解決に向けて経済学を基盤とした知識を応用することができる。 ⑨経済社会における個人や文化の多様性について理解を深めて尊重することができる。 ⑩すすんで他者と協働して、経済社会の問題解決に向けて行動することができる。

\*1：ALはアクティブラーニングを意味し、授業15回中ALゼロは空白、1～5回は△、6～10回は○、11～15回は◎を記載

野分	新科目名	ナンバリング	科目概要	カリキュラム・マップ										AL (*1)		
				①	②	③	④	⑤	⑥	⑦	⑧	⑨	⑩			
留学	国際理解4	EK1318	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。											◎	◎	
	国際理解5	EK1319	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。											◎	◎	
	国際理解6	EK1320	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。											◎	◎	
	国際理解7	EK1321	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。											◎	◎	
	国際理解8	EK1322	提携校の留学プログラムに応じて、単位認定を行う。											◎	◎	